

(二〇二〇 文後)

小論文

- ・問題は1～11ページである。
- ・下書き用紙は中に2枚入っている。

注意 解答は答案用紙に縦書きで記入しなさい。

小論文 二〇〇点

次の文章は、山崎正和『リズムの哲学ノート』の一節である(ただし、一部に変更と省略がある)。これを読んで、あとの問1〜3に答えなさい。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、 問題は掲載していません。

(注) 池谷——池谷裕二。日本の脳研究者。

問一 傍線部①に「しかしこの常識がまったくの錯覚であることは、『私』自身の『内面』の体験をのぞいてみただけでもただちにわかる」とあるが、具体的にどのようなようにしてわかるのか。三〇〇字以内で説明しなさい。(配点四〇点)

問二 傍線部②『エス』の実質的な内容を筆者はどのように考えているのか。四〇〇字以内で説明しなさい。(配点六〇点)

問三 筆者が述べるように、考える主体が「私」でないとすると、考える行為において「私」はどのような役割を担うことになるのか。また、どのような姿勢で考える行為に関わればよいのか。筆者の意見を踏まえ、あなたの考えを八〇〇字以内で述べなさい。(配点一〇〇点)